

佐久ゆうき合同会社

有機農業・環境
保全型農業部門

農産局長賞

所在地：長野県佐久市

面積：約80ha（うち有機：約60ha）

構成員：16人

栽培品目：かぼちゃ、ズッキーニ、ミニトマト 他

取組の紹介

【環境負荷低減に資する取組の推進】

- 2009年に、地域の有機農業者のほか、地域市場（現株R&Cながの青果佐久支社）を事務局とする有機農産物の任意の出荷団体「佐久ゆうきの会」を結成。2023年に合同会社化。
- 約60haのほ場で露地と施設野菜の有機栽培を行い、生産者16名全員が有機JAS認証を取得。
- 有機農産物の生産と販売を専門的に行うとともに、複合環境制御ハウス内の環境データや生育データと出荷データをクラウドで管理する等IoTの利用促進のための研修会開催、品種に応じた有機栽培のポイントについての種苗会社を招聘した勉強会開催など有機栽培に関する研究・情報取得、イベントの企画・運営を行う。

【安定出荷・販路拡大に向けた取組】

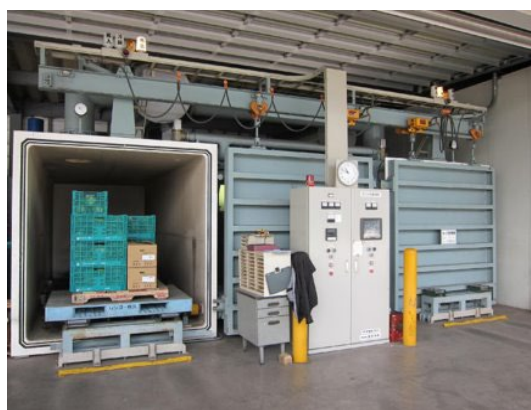
- インターネットのクラウドシステムを活用し、栽培計画と受発注の状況を全生産者と取引先で共有化できる運営システムを自社開発。また、合同会社の事務局を流通事業者（株R&Cながの青果）に委託することで、受発注やトラックの手配・配送、代金回収等の販売機能を外部化し、既存物流を利用しながら生産に専念できる環境を整備。これにより、販売実績を設立当初から4倍以上の1.7億円まで拡大。
- 地域のスーパーマーケットのほか、首都圏の生活協同組合や、オイシックス・ラ・大地（株）といった大手と契約し、安定した販路を確保。
- 取引先とは作付けの半年前に商談を行い、買取単価・数量を決定のうえ、契約に基づく計画的な生産を実施。

【消費者の理解醸成】

- オンライン会議システムを利用し生産現場及び市場の様子の中継や意見交換を行うなどの消費者交流を年複数回開催する他、保育園への食材提供や有機農業の理解促進のための講演会に参加。



若い生産者で構成（平均48歳）



流通事業者の真空予冷库を活用



スマート農業に関する研修

連絡先

佐久ゆうき合同会社窓口：

（株）R&Cながの青果・佐久支社（渡邊）

〒385-0021 長野県佐久市長土呂93-8

TEL:0267-66-1300